

まつ まえ こ じま
松前小島

■指定年月日／昭和47年12月12日
■所在／松前町字小島



松前小島

松前小島は、松前町から南西へ24km離れた、周囲約4kmの日本海上に浮かぶ孤島である。周辺は海食崖で囲まれ、島の大部分は火山噴火によって出来た安山岩から成る。頂上周囲には旧火口とみられる窪みと緩い平坦面がある。

この島は、4月下旬から6月下旬にかけて、海鳥が産卵のため飛来する。ケイマフリ、ウトウ、ウミガラス、ウミネコなどの海鳥の繁殖地で、特にウミガラス、ケイマフリは、この離島が繁殖地の南限となっている。また、この島にはイタヤの林と冷温帯の草原が発達しており、ここに住む動植物は、学術上の価値が高い。



大ヒヤク島